

現本庁舎のコンセプト等について

1. 現本庁舎のコンセプト等

(1) 完成パンフレットにおける市長あいさつ文（抜粋）

市民のみなさんが、待ち望んでいた新しい市庁舎が完成しました。市民のみなさんとともに、よろこびあいたいと思います。（中略）

市役所ということば自体に、いかめしい感じがありますが、英語では、シティホールと呼ばれています。つまり“市民の集まる場所”の意味です。

このことからみても、市役所は市民へのサービスセンター以外の何ものでもないと思います。こんどの新庁舎建設にあっても、ただ一つ“市民にとって便利な市役所”を念頭におきました。

例えば、市民の窓口となる部門を1・2階に集めたこと、窓口を改善した市民課の設置、事務の機械化などです。

勾当台公園を軸に、合同庁舎が建ち、新しい装いで市役所、県庁が並んだのも時代の要請とはいえ、画期的なもので、東北の中心都市にふさわしいものといえましょう。

“新しき酒は、新しき皮袋にもれ”ということわざのとおり、新しい新庁舎は、新しい市政、豊かな市民生活を生みだす原動力となるでしょう。

(2) 参考写真



目で見ると
広報課発行「目で見る市民生活と市政」12月号より抜粋
表玄関、広い玄関ホール、明るい光天井、
左手に大和撫子の見本のやうな案内嬢が優しく庁内の案内に当たる。又其の背後は「市民のへや」で心易く入室出来るので、旧庁舎とは全く環境が変わり之が市役所かと疑ふばかり。

広報課発行「目で見る市民生活と市政」12月号より抜粋

表玄関、広い玄関ホール、明るい光天井、左手に大和撫子のような案内嬢が優しく庁内の案内に当たる。又其の背後は「市民のへや」で心易く入室出来るので、旧庁舎とは全く環境が変わり之が市役所かと疑ふばかり。

①【解説文（1）】

②【解説文（2）】



(1)「市民のへや」旧庁舎時代の「市民室」とは全く趣を一変。広く、明るく近代的に造られたが、奥の壁面に貼り詰めた仙台名産「仙台平」は周囲と見事なハーモニーを作り少しも不自然さが無い。
(2)対市民の支払手続きは会計課窓口で、現金は向い側（東側）の七十七銀行窓口で、書類は写真右のエアシューターで銀行間を往復するので至極便利。
(3)1F東玄関入口の「ガスサービスセンター」商魂逞しく眼々しく飾り立て、又湯沸し器、風呂釜の実演もやり好評。
(4)西側中庭、東側中庭と屋上庭と共に岩石を主題とした造園で来庁者の眼をうばい素晴らしいの一言。

③【解説文（3）】



④【解説文（4）】



(1)「市民のへや」旧庁舎時代の「市民室」とは全く趣を一変。広く、明るく近代的に造られたが、奥の壁面に貼り詰めた仙台名産「仙台平」は周囲と見事なハーモニーを作り少しも不自然さが無い。

(2)対市民の支払手続きは会計課窓口で、現金は向い側（東側）の七十七銀行窓口で、書類は写真右のエアシューターで銀行間を往復するので至極便利。

(3)1F東玄関入口の「ガスサービスセンター」商魂逞しく眼々しく飾り立て、又湯沸し器、風呂釜の実演もやり好評。

(4)西側中庭、東側中庭と屋上庭と共に岩石を主題とした造園で来庁者の眼をうばい素晴らしいの一言。